佐賀市立
南川副小学校

特別支援教育だより

４月号

南小ホームページQRコード

「特別支援教育だより」始めます！！

日頃より、学校教育にご協力いただき、ありがとうございます。「佐賀市立南川副小学校だより№.2」にありました学校経営方針　本年度の重点項目【豊かで多様な感性を磨く】の（２）**特別支援教育の充実**を目指し、今年度は**「特別支援教育だより」**を発行したいと思います。担当は、特別支援教育部です。**毎月１回、発行**します。宜しくお願い致します。

特別支援教育ってなあに？

学校では、**集団行動**を通して、学ぶ場面がたくさんあります。朝の登校から、授業、休み時間や給食、掃除など、子どもたちは**たくさんの友だちと関わりながら**、日々いろいろな場面に出合い、考え、行動しています。それは、とても大切なことです。ひとりひとり性格が違いますから、考え方も違えば、行動も違います。解決するのに時間がかかる子どももいれば、あっという間にできる子どももいます。そんな中、**人より**感覚が敏感だったり、こだわりが強かったり、みんなのペースだとうまくついていけなかったりする子どももいます。その子どもたちは、**そこが解決しないと次に進めなかったり、不安になったり**します。敏感といってもいろいろあります。音が人よりも大きく聞こえたり、光が人一倍眩しく感じたり、肌や嗅覚の感覚などもあります。一つのことが気になると、納得するまでやらないと次に進めない子どももいます。「聞く」ことが苦手、「書く」ことが苦手な子どももいます。見通しがもてず、次に何をするのか分からないととても不安になり、次の活動ができない、そんな困り感をもった子どもたちが、集団の中で過ごしています。みんなが当たり前だと感じていることが**当たり前ではなく苦しんでいる**子どもたちがいます。そんな困り感をもった子どもたちが、**安心して学習できるように、その子どもに合った支援を行う**のが特別支援教育になります。特別支援教育は、まずその子どもの**実態把握**から始まります。**「どんな困り感をもっているのだろう。そして、その困り感はどこからきているのだろう。」**子ども自身は、困り感に気付かず、ただただ困っています。**周りの大人がいち早く気付き**、環境を整えることで、子どもが安心して学べることができます。その**支援を工夫**し、**子どものよりよい成長を手助けしていく**のが特別支援教育なのです。

♡♡♡来月のテーマは、**「本校の特別支援教育について」**です。

★★★